



## Cisco IP 電話 6800 キー拡張モジュール

- Cisco 6800 シリーズ キー拡張モジュール セットアップの概要 (1 ページ)
- 電話機の Web インターフェイスからのキー拡張モジュールの設定 (2 ページ)
- キー拡張モジュールでの短縮ダイヤルの設定 (2 ページ)
- キー拡張モジュール回線のコールパークを設定する (3 ページ)
- キー拡張モジュールでの話中ランプフィールドの設定 (4 ページ)
- [キー拡張モジュール] ボタンのボイスメール PLK の設定 (5 ページ)
- キー拡張モジュール セットアップへのアクセス (6 ページ)
- 電話機の Web ページからキー拡張モジュール LCD のコントラストを調整する (7 ページ)
- 電話機の Web ページからキー拡張モジュールの表示モードを変更する (7 ページ)
- ユーザがキー拡張モジュールのラインキーで機能を構成できるようにする (8 ページ)
- キー拡張モジュールのラインキーにメニューのショートカットを追加する (9 ページ)
- 拡張機能をキー拡張モジュールのラインキーに追加する (10 ページ)
- キー拡張モジュールのラインキーをシャットダウンする (10 ページ)

## Cisco 6800 シリーズ キー拡張モジュール セットアップの概要

Cisco IP 電話 6800 キー拡張モジュールを設置すると、プログラム可能なボタンが電話機に追加されます。プログラム可能なボタンは、短縮ダイヤル ボタンまたは電話機能ボタンとして設定できます。



Cisco IP 電話 6851 マルチプラットフォーム フォンがサポートするキー拡張モジュールは1つのみです。キー拡張モジュールは、14 の回線またはプログラマブル ボタン、および 2 ページを提供します。各ページには、14 の回線またはボタンが含まれます。

## 電話機の Web インターフェイスからのキー拡張モジュールの設定

電話機の web インターフェイスから、サポートされているキー拡張モジュールの数を追加できます。

XML (cfg.xml) コードを使用して電話機構成ファイルのパラメータを設定することもできます。

### 始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#) を参照してください。

### 手順

---

**ステップ 1** [音声 (Voice)] > [Attコンソール (Att Console)] を選択します。

**ステップ 2** [ユニット数 (Number of Units)] リストから、サポートされるキー拡張モジュールの数として [1] を選択します。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル (cfg.xml) でこのパラメータを設定することもできます。

```
<Number_of_Units ua="na">2</Number_of_Units>
```

デフォルト : 0

**ステップ 3** [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

---

## キー拡張モジュールでの短縮ダイヤルの設定

短縮ダイヤルをキー拡張モジュール回線で設定できます。ユーザは回線キーを押して頻繁にダイヤルする番号を呼び出すことができます。

XML (cfg.xml) コードを使用して電話機構成ファイルのパラメータを設定することもできます。

### 始める前に

[電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#).

## 手順

**ステップ 1** [音声 (Voice)] > [Attコンソール (Att Console)] を選択します。

**ステップ 2** 短縮ダイヤルを有効にするキー拡張モジュールの回線キーを選択します。

**ステップ 3** 次の形式で文字列を入力します。

```
fnc=sd;ext=9999@$PROXY;vid=n;nme=xxxx
```

### 引数の説明

- **fnc = sd** は機能 = 短縮ダイヤルを意味します。
- **ext = 9999** は、回線キーで呼び出す電話機です。9999 を番号で置き換えます。
- **vid = n** は電話機の回線インデックスです。
- **nme = XXXX** は短縮ダイヤル回線キーについて電話機で表示される名前です。XXXX を名前で置き換えます。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル (cfg.xml) でこのパラメータを設定することもできます。

```
<Unit_n_Key_m>fnc=sd;ext=9999@$PROXY;vid=n;nme=xxxx
```

**ステップ 4** [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

# キー拡張モジュール回線のコールパークを設定する

キー拡張モジュール回線のコールパークを有効にできます。ユーザは、その回線を使用してコールをパークし、自分の電話機または別電話機からコールを取得できます。

## 始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#) を参照してください。

## 手順

**ステップ 1** [音声 (Voice)] > [Attコンソール (Att Console)] を選択します。

**ステップ 2** コールパークを有効にするキー拡張モジュール回線のキーを選択します。

**ステップ 3** 次の形式で文字列を入力します。

```
fnc=prk;ext=9999@$PROXY;vid=n;nme=xxxx
```

### 引数の説明

- **fnc = prk** は関数がコールパークであることを意味します。

- `ext = 9999` は、回線キーで呼び出す電話機です。9999 を番号で置き換えます。
- `vid = n` は電話機の回線インデックスです。
- `nme = XXXX` は、コールパーク回線キーについて、電話機に表示される名前です。XXXX を名前で置き換えます。

キー拡張モジュールキーに XML サービスを設定することもできます。次の形式で文字列を入力します。

```
fnc=xml;url=http://xml.service.url;nme=name
```

## キー拡張モジュールでの話中ランプフィールドの設定

キー拡張モジュール回線のビジー ランプ フィールドを設定して、同僚が電話を受けられるかをユーザがモニタすることができます。

### 始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#)を参照してください。

### 手順

**ステップ 1** [音声 (Voice)] > [Attコンソール (Att Console)] を選択します。

**ステップ 2** キー拡張モジュール回線のキーを選択します。

**ステップ 3** 次の形式で文字列を入力します。

```
fnc=blf;sub=xxxx@$PROXY;usr=8888@$PROXY.
```

ここで、

- `fnc = blf` はビジー ランプ フィールド (busy lamp field) を意味します。
- `sub = SUBSCRIBE` メッセージの送付先の URI です。この名前は List URI: sip: パラメータで定義されている名前と同じである必要があります。xxxx は List URI: sip: パラメータで定義されている名前です。xxxx を定義されている正確な名前に置き換えます。\$PROXY はサーバです。\$PROXY をサーバアドレスまたは名前で置き換えます。
- `usr = BLF` によってモニタされている BroadSoft ユーザです。8888 はモニタされている電話機です。8888 をモニタする電話機の正確な番号に置き換えます。\$PROXY はサーバです。\$PROXY をサーバアドレスまたは名前で置き換えます。

**ステップ 4** (任意) ビジー ランプ フィールドを短縮ダイヤルとコールピックアップの両方で動作するようになるには、次の形式で文字列を入力します。

```
fnc=blf+sd+cp;sub=xxxx@$PROXY;usr=yyyy@$PROXY.
```

ここで、

sd= 短縮ダイヤル

cp= コール ピックアップ

ビジー ランプ フィールドをコール ピックアップまたは短縮ダイヤルのどちらかだけ有効にすることもできます。文字列を次の形式で入力します。

```
fnc=blf+cp;sub=xxxx@$PROXY;usr=yyyy@$PROXY
```

```
fnc=blf+sd;sub=xxxx@$PROXY;usr=yyyy@$PROXY
```

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル (cfg.xml) でこのパラメータを設定することもできます。

```
<Unit_1_Key_2_ua="na">fnc=blf;ext=3252@$PROXY;nme=BLF_3252</Unit_1_Key_2_>
```

**ステップ 5** [すべての変更の送信 (Submit All Changes) ]をクリックします。

## [キー拡張モジュール] ボタンのボイスメール PLK の設定

指定したユーザまたはグループのボイスメールアカウントをユーザが監視するように、ユーザのキー拡張モジュールのボイスメールプログラム ラインキー (PLK) を設定することができます。

ボイスメール PLK は、内線番号のボイスメールと別のユーザまたはグループのボイスメールの両方を監視できます。別のユーザまたはグループのボイスメールをモニタリングするには、SIP プロキシがサポートされている必要があります。

たとえば、ユーザがカスタマーサービスグループに属するとします。この機能により、ユーザは、ボイスメールとグループのボイスメールを両方とも監視できます。

同じボタンに対して短縮ダイヤルを設定した場合、ユーザはボタンを押して、割り当てられた内線への短縮ダイヤルを作成できます。

### 始める前に

電話機に 1 つまたは複数の拡張モジュールが取り付けられています。

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#)を参照してください。

### 手順

**ステップ 1** [音声 (Voice) ] > [Attコンソール (Att Console) ] を選択します。

**ステップ 2** ボイスメール PLK を設定する拡張モジュールボタンを選択します。

**ステップ 3** 次の形式で文字列を入力します。

- MWI のみの場合:

```
fnc=mwi;sub=group_vm@domain;vid=1;nme=Group;
```

- MWI + 短縮ダイヤルの場合:

```
fnc=mwi+sd;ext=8000@domain;sub=group_vm@domain;vid=1;nme=Group;
```

- MWI + 短縮ダイヤル + DTMFの場合:

```
fnc=mwi+sd;ext=8000 ,4085283300#,123456#@domain;sub=group_vm@domain;vid=1;nme=Group;
```

文字列シンタックスの詳細については、[ボイスメール PLK の文字列シンタックス](#)を参照してください。

このパラメータは、電話機の設定ファイル(cfg.xml)でも設定できます。パラメータは、回線固有です。次の形式で文字列を入力します。

```
<Unit_1_Key_1_ ua="na">fnc=mwi+sd;ext=8000 ,4085283300#,123456#@domain;
sub=group_vm@domain;vid=1;nme=Group;</Unit_1_Key_1_>
```

- ステップ 4 全般 (General)**セクションで、カスタマイズ可能な PLK オプションでmwi または **mwi; sd** を追加します。

設定ファイル(cfg.xml)のパラメータ:

```
<Customizable_PLK_Options ua="na">mwi;sd</Customizable_PLK_Options>
```

設定後、ユーザは対応する拡張モジュールボタンの機能を設定することができます。


- ステップ 5** [すべての変更の送信 (Submit All Changes) ]をクリックします。

## キー拡張モジュールセットアップへのアクセス

電話機にキー拡張モジュールを設置し、それらを電話機の Web ページで設定すると、電話機は、そのキー拡張モジュールを自動的に認識します。

電話機がキー拡張モジュールを自動的に認識したら、[詳細 (Details) ]ソフトキーを使用して、選択したキー拡張モジュールに関する追加情報を表示できます。

### 手順

- ステップ 1** 電話機で[アプリケーション (Applications) ]  を押します。

- ステップ 2** [ステータス (Status) ] > [アクセサリ (Accessories) ]を押します。

正しく設置および設定されたキー拡張モジュールは、アクセサリのリストに表示されます。

# 電話機の Web ページからキー拡張モジュール LCD のコントラストを調整する

電話機 Web ページからキー拡張モジュールの LCD コントラストを調整できます。調整した値は電話機に反映されます。この値は電話機から変更できます。

## 始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#)を参照してください。

## 手順

---

**ステップ 1** [音声 (Voice)] > [Attコンソール (Att Console)] を選択します。

**ステップ 2** [全般 (General)] セクションで、[アテンダント コンソールの LCD コントラスト (Attendant Console LCD Contrast)] フィールドに値を入力します。

有効値 : 4 ~ 12

**ステップ 3** [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

---

# 電話機の Web ページからキー拡張モジュールの表示モードを変更する

キー拡張モジュール回線の話中ランプ フィールド (BLF) ラベルは変更できます。このラベルは、名前、拡張子、またはその両方で表示できます。変更内容は電話機に反映されます。表示モードは電話機から変更することもできます。

## 始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#)を参照してください。

## 手順

---

**ステップ 1** [音声 (Voice)] > [Attコンソール (Att Console)] を選択します。

**ステップ 2** [全般 (General)] セクションの [BLF ラベル表示モード (BLF Label Display Mode)] フィールドで、表示モードの種類を選択します。

ユーザがキー拡張モジュールのラインキーで機能を構成できるようにする

ステップ3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

## ユーザがキー拡張モジュールのラインキーで機能を構成できるようにする

キー拡張モジュールのラインキーで、ユーザが機能を設定できるようにすることができます。ユーザは、設定されている機能を専用のラインキーに追加できます。サポートされている機能については、[ラインキーの設定可能な機能](#)を参照してください。

### 始める前に

- 電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#)を参照してください。
- キー拡張モジュールのラインキーが [惰性 (Inert)] モードではないことを確認します。

### 手順

ステップ1 [音声 (Voice)] > [Attコンソール (Att Console)] を選択します。

ステップ2 [全般 (General)] セクションで、[ラインキーの設定可能な機能](#)の定義に従って、[カスタマイズ可能な PLK オプション (Customizable PLK Options)] パラメータを目的の機能のコードで設定します。

例：このパラメータは、`blf;shortcut;dnd;` で設定されています。ユーザは、キー拡張モジュールのラインキーを押した状態で、機能一覧を呼び出すことができます。機能一覧は次のようになります。

1 なし

2 BLF プレゼンス

4 メニューショートカット

3 サイレント

ユーザは機能またはメニューショートカットを選択して、ラインキーに追加することができます。

次の形式の文字列を使って、設定ファイル(`cfg.xml`)でこのパラメータを設定することもできます。

```
<Customizable_PLK_Options ua="na">blf;shortcut;dnd;</Customizable_PLK_Options>
```

ステップ3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。



# キー拡張モジュールのラインキーにメニューのショートカットを追加する

接続されているキー拡張モジュールのラインキーにメニューショートカットを追加できます。その後、ユーザは設定されたラインキーを押してこのメニューにアクセスできます。

## 始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#) を参照してください。

## 手順

**ステップ 1** [音声 (Voice) ] > [Attコンソール (Att Console) ] を選択します。

**ステップ 2** ユニット (*n*) セクションに移動します。ここでの *n* はキー拡張モジュールのユニット番号です。

**ステップ 3** ユニット *n* キー *m* フィールドを設定します。ここでの *n* はキー拡張モジュールのユニット番号、*m* はキー番号です。

```
fnc=shortcut;url=userpref;nme=User preferences
```

### 引数の説明

- `fnc=shortcut` は、`function=phone` メニューのショートカットです。
- `url = userpref` は、このラインキーを使用して開くメニューです。この例の **ユーザ設定メニュー** です。ショートカットマップの詳細については、[PLK と PSK のメニューショートカットのマッピング](#) を参照してください。
- `Nme = XXXX` は、キー拡張モジュールに表示されるメニューショートカット名です。表示名を指定しない場合、ラインキーにはターゲットメニュー項目が表示されません。この例では、ラインキーが **ユーザ設定** を表示します。

次の形式の文字列を使って、設定ファイル (`cfg.xml`) でパラメータを設定することもできます。

```
<Unit_n_Key_m_ua="na">fnc=shortcut;url=userpref;nme=User preferences</Unit_n_Key_m_>
```

ここでの、*n* はキー拡張モジュールのユニット番号、*m* はキー番号です。

**ステップ 4** [すべての変更の送信 (Submit All Changes) ] をクリックします。

## 拡張機能をキー拡張モジュールのラインキーに追加する

接続されているキー拡張モジュールのラインキーに機能を追加できます。その後、ユーザはラインキーを押してこの機能にアクセスできます。サポートされている機能については、[ラインキーの設定可能な機能](#)を参照してください。

### 始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#)を参照してください。

### 手順

**ステップ 1** [音声 (Voice) ] > [Attコンソール (Att Console) ] を選択します。

**ステップ 2** ユニット (*n*) セクションに移動します。ここでの *n* はキー拡張モジュールのユニット番号です。

**ステップ 3** ユニット *n* キー *m* フィールドを設定します。ここでの *n* はキー拡張モジュールのユニット番号、*m* はキー番号です。

```
fnc=dnd
```

ユーザは、ラインキーを使用して応答不可モードをオンまたはオフにすることができます。機能コードの詳細については、[ラインキーの設定可能な機能](#)を参照してください。

次の形式の文字列を使って、設定ファイル (cfg.xml) でパラメータを設定することもできます。

```
<Unit_n_Key_m_ua="na">fnc=dnd</Unit_n_Key_m_>
```

ここでの、*n* はキー拡張モジュールのユニット番号、*m* はキー番号です。

**ステップ 4** [すべての変更の送信 (Submit All Changes) ] をクリックします。

## キー拡張モジュールのラインキーをシャットダウンする

電話機のウェブページからラインキーの [惰性 (Inert) ] モードを設定することで、キー拡張モジュールのラインキーをシャットダウンできます。キー拡張モジュールのラインキーが [惰性 (Inert) ] モードの場合、キー拡張モジュールのラインキーは完全に無効になります。たとえば、キー拡張モジュールの LED が無効 (LED の動作を含む) で、キー拡張モジュールのラインキーの横にアイコンやテキストが表示されず、キー拡張モジュールボタンは応答しません。つまり、完全に利用できません。

### 始める前に

電話管理のウェブインターフェイスにアクセスします。「[電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#)」を参照。

## 手順

---

**ステップ 1** [音声 (Voice) ] > [Attコンソール (Att Console) ] を選択します。

**ステップ 2** [ユニット (n) (Unit (n)) ] セクションに移動します。ここでの *n* はキー拡張モジュールのユニット番号です。

**ステップ 3** ユニット *n* キー *m* フィールドを設定します。ここでの *n* はキー拡張モジュールのユニット番号、*m* はキー番号です。

```
fnc=inert;
```

ここで `fnc=inert` は `function=inert` を意味します。

次の形式の文字列を使って、設定ファイル(`cfg.xml`)でパラメータを設定することもできます。

```
<Unit_n_Key_m_ua="na">fnc=inert;</Unit_n_Key_m_>
```

ここでの、*n* はキー拡張モジュールのユニット番号、*m* はキー番号です。

**ステップ 4** [すべての変更の送信 (Submit All Changes) ] をクリックします。

---

■ キー拡張モジュールのラインキーをシャットダウンする